

特集

藤堂高虎公入府四〇〇〇年記念事業の案内

NHKのご自慢の案内

自慢のものを披露

放送は来年

3月15日(日)予定

藤堂高虎公入府400年事業の一環として、津市とNHK津放送局は「NHKのご自慢」の公開録画を実施する。出場・観覧の申込みは終了済み。

予選会は来年1月17日(土)に行われ、予選会を通過した20組が18日(日)の本選に進む。会場は津市・身田の三重県文化会館大ホール。

ゲストは演歌歌手の山川豊さん(三重県鳥羽市出身)と長山洋子さん。放送予定は来年3月15日(日)12時15分~13時、NHK総合、衛星第2、ラジオ第1、全国放送。



津シティマラソン案内

マイペースで走る楽しさ実感

ゲストランナーは金メダリストの吉田沙保里さん

「第4回津シティマラソン」(津シティマラソン実行委員会・津市・津市教育委員会主催)が来年1月25日(日)、津市安濃中央総合公園で開催される。雨天決行。午前10時スタート。受付は午前7時半~午前9時まで。参加申込みは12月5日終了済み。

走ることの楽しさやスポーツを通じた健康づくり、地域活性化促進を目的に開催される同マラソンは毎回多くのランナーが参加。走る楽しさを味わえるスポーツイベントとして人気がある。市外・県外からの参加者も多く、前回の参加者は1780人だった。同公園を発着点に高校生以上一般の10キロ、中学生以上一般の5キロ、小学4年~6年生と中学生以上一般の2キロ、ジョギングの5コースがある。



(株)フォトクリエイト提供

それぞれ自分のペースにあった走りを楽しめる。

津市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルの案内

エンジョイ・スポーツ!

「スポーツ・レクリエーションを通し相互交流を深め、健康で豊かなスポーツライフの実現と市民誰もが生涯を通してスポーツ・レクリエーションを楽しむこと」を目的に11月から来年2月にかけて、「津市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル」(津市スポーツ・レクリエーションフェスティバル実行委員会主催)が開催される。「ジュニアスポーツ団体駅伝

今回のゲストランナーは北京オリンピック・レスリング女子55kg級金メダリストの吉田沙保里さん(津市出身)。

レース終了後には表彰式が行われ、抽選会や豚汁の提供もある。

お問合せは津市スポーツ・文化振興室スポーツ振興課内津シティマラソン実行委員会事務局、電話059(229)3254。

大会(津市スポーツ少年団駅伝大会)は来年2月14日(土)、安濃中央総合公園周辺で開催される。受付は午前8時~。

「寒さに負けない体力と心身の鍛錬、相互親睦を深めよう」と同実行委員会と津市スポーツ少年団本部が主催する。駅伝の部と友好レースの部があり、前回は116チーム、856人が参加。元気な走りを見せてくれた。

対象はスポーツ少年団や子ども会などに加入している人。申込み締切は、12月26日(金)。



同日の来年2月14日には2つのスポーツイベントも開催する。

「ユーススポーツ体験&車いすバスケットデモンストラーションと体験」は、午後1時半から安濃中央総合体育館及び周辺施設で開催する。どなたでも参加でき、事前申込みは不要。

「アクアスポーツフェスティバル」は、午後1時から津市民プールで開催する。「水と仲良く楽しもう」と元オリンピック選手の高橋浩浩さんによる競泳ウィンポイントアドバンスや尾陰由美子さんの水中運動がある。小学生以上が対象。※小学生は保護者同伴。参加費300円。定員先着80人。申込み締切は、12月16日(火)。

特集 藤堂高虎公入府四〇〇〇年記念事業の紹介

津まつり

多彩な催し 溢れる笑顔 津まつりにどこと39万人!

「津まつり」津まつり実行委員会主催が、10月11、12日、津市中心街で開催された。

主催者発表によると2日間、約39万人の来場者があった。藤堂高虎公入府400年記念の年ということもあり、昨年より約1万人増となった。

津まつりは津藩第2代藩主の藤堂高次公が八幡神宮を現在の地に移し、藩祖高虎公の霊をまつた際の祭礼から始ま



つたとされ、藩の奨励もあり、盛大なものになっていったという。

11日の「市民総おどり」は、約30団体1600人が参加。おなじみの「津音頭」などを始めとする踊りで市内を熱気に包んだ。山車・みこしは11、12日の両日、約30団体2100人が参加。12日の引き船来も約50人の参加があり、市内各所で盛り上がりを見せた。

また毎年人気の第27回「フリーマーケット in 津」もお城公園会場で開催され、多くの買い物客で賑わった。

12日は注目の大パレードが行われた。和船山車「安濃津丸」や高虎時代絵巻、郷土芸能団体、「安濃津よさこい」チーム、市内小中学校の吹奏楽部など62団体が参加し、市内をパレードした。

一日船長にタレントの安めぐみさんを迎え、日本最大級の和船山車「安濃津丸」が出発すると沿道にはその姿をひと目見ようと大きな人垣ができ



た。

藤堂高虎公入府400年記念の今年、「高虎時代絵巻」の時代行列も参加人数約120人と人数も増え、よりスケールアップして大パレードに参加した。公募で選ばれた高虎公役の横田吉昭さんや奥方役の柘植彩花さんを始め、高虎公入府400年記念事業公認キャラクターのシロモチくん、手づくり甲冑に身をまとった武将たちやかわいっこびつ子武者たちなどの華やかな行列に沿道の人たちは手を振り、身を乗り出すように見入っていた。フェニックス会場で開催された「津・郷土芸能の集い」には「

甲冑の紹介

根気の作業続け、見事完成 大パレードに華やかな彩り

津まつり大パレードで、ひときわ注目を集めていた「高虎時代絵巻」中、でも沿道の人々を驚かせたのは、手作り甲冑の素晴らしさだった。

これはNPO法人「三重ドリムクラブ」(加藤久代表理事)主催の「手作り甲冑教室」参加者12人が完成させたもの。



磯竹正道講師と手づくり甲冑教室参加者の皆さん 新祥子さん・上嶋とき子さん・乙部結治さん・川合史朗さん・黒川順一さん・斉藤好信さん・藤原てる子さん・数内彦一さん・田川修さん・入江敦史さん・中川怜奈さん・加藤久代表

磯竹正道講師に指導を受け、4月から2回教室に通い、家に持ち帰っては残りの作業を続けたという。段ボールにペンを重ねて着色、サンドペーパーかけや布貼り、ドリルで穴を開け、紐を編みこむなどその作業工程は細かい。しかし参加者は「根気のいる作業も楽しく、また作りたい」と笑顔で話した。なるべく家庭にあるものを使ってという磯竹講師は工事用ヘルメットを加工したり、止め具をアイデア利用するなど工夫を凝らして指導。色やデザインに個性を出し、完成した甲冑は世界にしかない貴重なものとなった。

高虎サミットin津

「第5回高虎サミットin津」400年の時を経て、輝け！元氣なまちづくり（同サミット実行委員会主催）が11月2日、津市大門の津市センターパレス大ホールで開催された。1998年、津市で第1回の高虎サミットを開催。その後ゆかりの地を巡り、入府400年記念の今年、2回目となるサミットを開催した。初代藤堂藩主であり、津のまちの礎をつくった戦国武将の藤堂高虎公ゆかりの地と交流を深め、互いの情報発信により魅力的で個性豊かなまちづくりを寄与することが目的。

会場には津市をはじめ、高虎公ゆかりの地7市町から約450人が参加し、大いに盛り上がった。

大会では、唐人踊りの伝統芸能披露やゆかりの地や団体の紹介、講演会、シンポジウム、大会宣言などが行われた。

基調講演では、早稲田大学文学学術院教授の深谷克己氏が「時代の近世化と藤堂高虎」について話した。「乱世の世にあつても先見の明で、近世化の統治を行った。世子高次に自書の教訓19箇条「太祖遺訓」を与え、その中で武将として



第5回高虎サミットin津 100年の時を経て、輝け！元氣なまちづくり

の奉公から治者としての奉公についてなど時代を駆け上がっていた高虎の考えを示した。ベテラン・年配者の姿を見せることでイメージトレーニングや実践活動に役立てばという考えがうかがえる。高虎はフランスのとれた、感受性豊かな人。要塞として整備された城下を居住の町に変えた力など、高虎の業績は語りつくせない」と話した。

シンポジウム「藤堂高虎公に学ぶまちづくり」は、高虎サミット委員長で三重大学教授の藤田達生氏をコーディネーターに、深谷教授や松田直久津市長ら6人が出席。城と町に流れを作った高虎公の手腕を挙げ、現代の町の活性化への取り組みなどを話し合った。

高虎楽座

「第36回高虎楽座」（高虎楽座運営協議会主催）が11月2日、津市フェニックス通り一帯で開催され、秋晴れのもと、多くの市民が訪れた。

メインステージでは子ども唐人おどりや津高虎太鼓などのほか、高虎公ゆかりの地である愛媛県今治市の「今治寿太鼓」や滋賀県甲良町の「甲良大正琴」などの伝統芸能の発表もあり、集まった観客らは盛んに拍手を送っていた。

また過去最高の158ブースが出店した「にぎわい市」のフリーマーケット会場は早くから買い物客が押し寄せた。宇和島市のみかんや篠山市の黒豆などゆかりの地の物産販売も人気を集めていた。



農林水産まつり



「農林水産まつり」が11月2日、津市の丸之内商店街と大門大通り商店街で開催され、多くの買い物客らで賑わった。

地元の米や野菜、果物、お茶、花木、魚介類などの農林水産物やお餅や味噌、こんにやくなどの加工品などを扱う37団体が出店した。市価よりもお買い得価格とあって、幾つもの商品を買いたい人の姿が目立った。

また会場では、「親子ハイドロカルチャー」や子ども向け体験教室「あらね煎り体験」も行われ、人気を集めていた。市内から3人の子とも訪れたという主婦は「買い物も体験もできて楽しいですね」と笑顔で話した。

街道ウォーク

藤堂高虎公入府400年記念事業の一環として、5月から開催していた「街道ウォーク」が11月2日最終日を迎えた。津市中央地区で行われ、320人が参加した。

参加者らはお城公園を出発し、「シロモチくんの館」や谷川土清旧宅、寒松院、藩校有造館跡などゆかりの地8キロを巡り、ゴールの津市まん中広場を目指した。



藤堂高虎公入府400年と津の町展

高虎公、津の町への関心高く

「藤堂高虎公入府400年と津の町展」(樋田清砂と津の町展実行委員会、津文化協会主催)が、10月8日〜13日まで、津リージョンプラザ3階展示室(津市西丸之内)で開催された。

津藩の研究に長年取り組む郷土歴史家の樋田清砂氏(90)の所蔵資料を中心に三重大学附属図書館研究開発室、県史編さんグループ・県立博物館の協力を得て実現。

「藩祖高虎と藤堂家中」「津城と城下町」「津藩領内の村々と人々の生活」のテーマに沿って、家臣への知行宛行状「藤堂高虎知行目録」や津藩藤堂家の重臣を記した「藤堂和泉守家中記」、津城内外の施



設を書き留めた「津城御秘録」など約70点の資料やパネルが展示された。

「昔の津城を見れる」と明治から昭和30年代までの津城を写した写真「津城古写真」など8点に見入る来場者の姿も多く見られた。

「毎日約300〜400人の方に来て頂き、皆さんの高虎公や津の町への関心の高さを実感しました」と同実行委員会。

新町フェスタ

船上結婚式パレード 華やかに

藤堂高虎公入府400年記念市民自主事業の1つとして、第29回歩行者天国「新町フェスタ」(津新町通り商店街振興組合主催・別所莞至理事長)が11月23日、同商店街で開催された。

和船山車「安濃津丸」で同組合の森勝副理事長が開会宣言。松田直久津市長は「津新町通り商店街は人情溢れる町づくりを進めてもらっている。今年が高虎公入府400年記



祝船上結婚式

念の年、安濃津丸で誕生した新しいカップルに心から幸せを祈ります。皆さんも満喫してください」と挨拶した。

この日、船上結婚式を挙げる山野勝久さん(23)と鬼本恵律子さん(25)のカップルも参加して、安濃津丸から餅まきを行った。

パレードは、とらまる君やシロモチくんを先頭に手作り甲冑姿の武将らや清泉幼稚園や津カトリック保育園の子どもたちによるちびっ子武者行列、よさこいチーム「極津」、津市消防音楽隊、山野さんカップルを乗せた「安濃津丸」が華やかに通りをパレード。沿道からは祝福の声が多くかかった。

記念イベントの能面展示やフリーマーケット、飲食模擬店、スタンプラリーなども行われ、日中多くの人で賑わっていた。

まちかど博物館三重のまんなか博覧会

館長こだわりの品すらすら 藤堂藩をテーマに魅力の展示

藤堂高虎公入府400年記念事業の一環として、「まちかど博物館 三重のまんなか博覧会」津・まちかど博物館もりあげ隊主催)が11月15、16日の2日間、ポルタ久居(津市久居新町)で開催され、多くの市民で賑わった。

津市内にあるまちかど博物館25館と東紀州や員弁などから6館が参加。会場では高虎公の能面や兜の焼き物、刀剣、鉄道おもちゃなど館長こだわりの収集品展示やわら細工実演などが行われた。



古代井、備後、つぶと



「スランドグラス」の伊賀上野城

入府400年記念の年にちなみ、展覧会のテーマを藤堂藩に。「スランドグラスの伊賀上野城」(夢ガラス白山)や「古代米の稲わらで作った兜」(わら細工館諏訪庄)、「藤堂家家臣の衣装」(世界蛙御殿)、「焼き物のシロモチくん」(いなべまちかど博物館)などが並び、訪れた人は熱心に見入っていた。

また15日は、市川篁陰氏による「高虎と能の講話」や喜楽会の仕舞、あの津っ子による「もち屋のミチ」の紙芝居、16日は久居つば博物館の北田辰己氏と作家の椋本千江氏による講演会や紙芝居なども行われた。戦国甲冑や能面撮影会も親子連れなどに人気だった。

同隊の堀口健二郎会長は「博覧会をきっかけに興味や生涯学習となる新しい出会いが生まれれば嬉しい」と話した。

ゆるキャラって?

「ゆるキャラ」って知ってる? 「ゆるいマスコットキャラクター」の略で、国や地方公共団体、その他の公共機関等が、イベント、各種キャンペーン、町おこし、名産品の紹介などのような地域全般の情報PRなどに使用するマスコットキャラクターのこと。

滋賀県彦根市「国宝・彦根城築城400年祭」のイメージキャラクター「ひこにゃん」が最近のゆるキャラブームの火付け役だ。その「ひこにゃん」が各地のゆるキャラ仲間を招待するという趣向で、10月末に彦根市で開かれたイベントには多くの観光客が集まり、予想以上ににぎわいを見せた。



津のゆるキャラ シロモチくん

わが町・津にも、今年2月、藤室高虎公入府400年記念事業の公認キャラクター「シロモチくん」が誕生。高虎公がまだ若い頃、つまみ食いをしてしまったモチ屋の主人に優しい言葉をかけてもらったことから「人の情けを忘れないように」と作られた藤室家の「白い3つ丸モチの旗印」から生まれた精霊だ。顔と胴体は白い3つのモチをイメージし、高虎公愛用の唐冠形兜(とうかん)なりかぶとをかぶっている。津まつりはもちろん、さまざまなイベントに登場、幼稚園などへの訪問も行い、記念事業、さらには津の町を盛り上げるため、日夜奮闘している。

ゆるキャラまつり

10月25・26日、彦根市の夢京橋キャッスルロードなどで、「ゆるキャラまつり in 彦根」キグくるミサミット2008」(主催・井伊直弼と開国150年祭実行委員会)が開かれた。全国各地のゆるキャラの着ぐるみが一室に会し、ステージで物産やイベントをPR。各ブース(テント張り)ではグッズの販売も行い、サブ会場では綱引きやクイズなどの楽しいイベントも盛りだくさん。当初の見込みの1万5千人を大きく上回り、2日間で4万6千人のファンが集まる大イベントとなった。

人気ナンバーワンは?

集まった着ぐるみは、北は宮城県の「むすび丸」から、南は佐賀県唐津市の「唐ランくん」まで、全部で46体。滋賀県は「ひこにゃん」「やちん」「しままこにゃん」「いしだみつにゃん」、大津市の源氏物語千年紀マスコット「おおつ光ルくん」など、最多の14体。隣の福井県若狭



ひこにゃんに続け!

25日、開幕式の後のPRタイムのトップを飾ったのが、我らが「シロモチくん」。サポーター役の「やちん」と一緒にステージに上がるやいなや、詰めかけた家族連れから歓声が上がった。全国デビューとあって、シロモチくんも興奮気味! 手を振り、飛び跳ね、ステージから落ちそうになるほどのサービスぶりだ。



その後も、ブース周辺でファンとの交流を深め、これまで知られていなかった他県の人からも「かわいい」「グッズがほしい」と人気を博した。

ストラップ(600円)、ステッカー(2枚50円)、マグカップ(500円)、うちわ(300円)、タオル(300円)、Tシャツ(千円)などのグッズを多くの人が買い求め、シロモチくんもうれしそうだったとか。

第1回高虎ゴルフ大会の紹介

ゴルフでも記念行事を盛り上げよう

「高虎杯ゴルフ大会」(主催・グランシエロゴルフ倶楽部・エムテック)は、高虎公入府400年記念事業をさまざまな形で盛り上げ、津を活性化しようという目的で企画された。今夏参加要項を作成し、9月から受付をしたところ、多くの申し込みがあった。

大会当日



会場の「グランシエロゴルフ倶楽部」(津市「志町」)は、眼下に雲出川の清流、彼方には青山高原や伊勢湾を眺め、自然と

ゴルフだけでなく

ロビーでは、旧美杉村の物産販売が行われた。自家茶園で無農薬にこだわって栽培した緑茶葉や抹茶を使った「ちゃちゃ最中」が人気の「お菓子処おか」と、添加物を一切使用しない「美杉みそ」の「峯田麴店」、昔ながらの製法で作る「練ようかん」の「東屋」、本物の味と香りが自慢の「美杉茶」の「よこや製茶」の4店が出店。参加者は、作り手の顔が見える安心・安全な商品を前に、「どれもおもしろそう」と、買い物を楽しんだ。

気になる賞品は?

表彰は優勝から10位までに加え、各5位ずつのとび賞とブービー賞。津市の活性化を目的のひとつとしたため、賞品は津の特産物ばかり。以下の11社の商品。(五十音順・敬称略)

「あぐりネット三重中央」(久居新町)、「油正」(久居本町)、「伊勢屋」(中央)、「エムテック」(雲出本郷町)、「お菓子処おか」と「美杉町」、「おやつカンパ



また、「高虎ゆかりの地・写真展」や「シロモチくんPRコーナー」も設けられた。レストラで行われたパーティーでは、食事の前に「高虎クイズ」で盛り上がり、県内外の参加者の高虎公と入府400年記念事業のアピールは大成功だった。

結果&賞品発表

今大会はダブルペリア方式で行なわれ、優勝は山本直也さん(グロス89、HDCP19.2、ネット69.8)。賞品は「伊勢屋」の松阪肉。霜降りがきめ細かく、柔らかで、脂肪分に甘味がある最高級の牛肉。準優勝は小宮嘉信さん(グロス98、HDCP27.6、ネット70.4)。賞品は「松阪ハム」の燻セツト。厳選された原料をじっくり、丁寧に熟成。風味豊かなベーコンやパンチエッタなど。

3位は丸井章司さん(グロス79、HDCP8.4、ネット70.6)。賞品は「油正」の純米大吟醸セツト。手間ひまかけて造った、せい沢なお酒。飲むほ

来年はあなたも

「第1回」と銘打った通り、来年以降も開催する予定の本大会。一過性のものに終わらせない、長く続く事業とし、2008年が記念の年として後世に残るようにしたいと主催者は考えている。

「第2回大会」には、ぜひあなたも参加を! 賞品もパワーアップする予定。乞うご期待!

お問い合わせは、同倶楽部・電話059(259)2200、または、エムテック・電話059(234)0808まで。



どに味わい深くなると評判!